

祝子の風

黒岩小中学校学校だより

H29.10.27

No. 6

文責：校長

寄り添った「くろいわ祭」

台風二二号が接近する中、十月二日(日)にくろいわ祭を開催しました。暴風雨の中、保護者や地域の方々にもたくさんご参観いただき、ありがとうございました。

各学年とも工夫を凝らした発表で、これまでの練習の成果が十分に発揮されていました。この行事の成功をこれからの学校生活にぜひ活かしてもらいたいと思います。終了後、たくさんさんの保護者や地域の方に片付けを手伝っていただき助かりました。ありがとうございました。

くろいわ祭全体を仕切った
実行委員長の平野希光さん



開会・閉会を告げる

大谷勇輝さん



オープニングでは、小学部・中学部の児童生徒全員が、心をつなげて「Tomorrow (トゥモロー)」を合唱しました。



小3・4年「三年とうげ」配役が次々に替わりました。



小1・2年「えとのはじまり」各自が特技を披露してくれました。

稲刈りをしました！

H29.10.14



小5・6年「困難の向こう側」意外な面も見られました。



中学部劇「森は生きている」長いセリフも何のその。全員が役になりきり、レベルの高い劇を見せてくれました。

校長室より

くろいわ祭が終わり、二期の大きな行事が一つ終わりました。秋と言えば、「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」「実りの秋」といろいろありますが、何事にも集中できる季節です。全国学力調査で児童生徒に質問した結果、宮崎県の児童生徒は全国に比べて望ましい生活習慣がしっかり身に付いているそうです。ただ「新聞を読む」「読書が好き」な子どもの割合がやや低かったようです。文章の読解力はすべての教科に影響します。秋の夜長、たまには家族で静かに読書をしてみてはどうでしょうか。かぜやインフルエンザがはやり始める時期、みんなで気を付けていきましょう。